

# 2019 年度 韓国留学報告書

留学先・・慶熙大学

留学期間・・8月31日（土）～12月26日（木）

新潟国際情報大学 国際学部国際文化学科  
21018093 樋浦美優

## 目次

1.	留学先および留学期間	3
2.	留学先概要	3
3.	留学の目的	4
4.	留学内容	4
	4-1 留学スケジュール	4
	4-2 留学の詳細	6
5.	所感	9
6.	反省・課題	10
	謝辞	10

## 1. 留学先および期間

留学先：慶熙大学 国際教育院

留学期間：2019年8月31日～2019年12月26日

## 2. 留学先概要

### (1) 大学について

慶熙大学は、1949年に創立され、現在ソウル、水原、光陵にあるキャンパスに約20の学部が設置されている。そして、50か国150校と姉妹提携を結び、大学間の単位交換、語学研修、国際交流プログラムを実施しています。慶熙大学は、韓国初の韓国語教育専攻を学部に取り入れている。

### (2) 国際教育院について

慶熙大学の国際教育院は、1993年に韓国教育プログラムを開始した。毎年30か国700人以上の留学生が韓国語を勉強している。またこの学部の醍醐味でもある、「トウミ制度」という、慶熙大学生とマンツーマンになって韓国での生活や文化を学んでいく制度がある。

### 3. 留学の目的

今回の留学の目的は、韓国語の向上のためだ。Kポップに興味を持ち、韓国語を耳にする機会がととも増えていた。最初は意味も分からずに聞いたままに口に出していた。これをちゃんと意味を理解しながら歌えるようになりたいと思っていた。そして祖母の影響でよく韓国ドラマもよく見ていた。いつか字幕なしでドラマがみることができたらいいなと考えていた。留学には必ず行きたいと思っていたため、自分の中で一番関心のある韓国に留学することに決めた。常に韓国語しか飛び交っていない場所でどれだけ自分が成長できるのか試してみたかった。これが留学の目的だ。

### 4. 留学内容

以下から留学の内容について記述する。

#### 4-1 留学のスケジュール

留学中のスケジュールは以下の通りである。

8月31日(土) 出発・入寮

9月2日(日) オリエンテーション

9月3日（火）～9月24日（金）3週間時間割

月	曜日	午前		午後
9	月	文法	聞く・話す	映像韓国語
	火	文法	読む・書く	韓国事情
	水	文法	聞く・話す	セミナー
	木	文法	読む・書く	
	金	文法	聞く・話す	

9月5日（木） ロッテワールド

9月19日（木） Nソウルタワー、国立中央博物館

10月1日（火）～12月11日（水） 10週間正規過程時間割

曜日	午前		午後
月	文法	聞く・話す	映像韓国語
火	文法	読む・書く	韓国事情
水	文法	聞く・話す	セミナー
木	文法	読む・書く	大衆文化（歌、本）
金	文法	聞く・話す	

- ・10月16日（水） 料理授業
- ・11月5日（火）、6日（水） 中間考査
- ・11月12日（火） 現地学習
- ・12月5日（木）、6日（金） 期末考査

12月12日（木）～12月19日（木）1週間特別授業

午前	TOPIK 過去問演習
----	-------------

- ・12月18日（水） 観劇鑑賞
- ・12月19日（木） 新潟国際情報大学 修了式

12月20日（金）～12月25日（水） 自由研修

12月26日（木） 帰国

#### 4-2 留学の詳細

##### ① 午前中の授業

初級1と初級2を学習した。初級1の授業は、NUISだけのクラスだった。1コマ50分で、午前中だけで4コマある。コマの間に10分間の休憩もあるため、各コマ集中して取り組むことができた。初級2は、外国人や他の日本から来た

大学の人と一緒にいるクラスだった。レベル別になっていて、同じくらいのレベルの人たちと勉強することができた。先生もとても分かりやすい韓国語で授業をしてくださるため、ちゃんと理解することができた。

## ② 映像韓国語

「ビューティー・イン・サイド」というドラマを見て、そのドラマを再現しつつ自分たちで物語をつくっていくという授業だった。韓国語でセリフを考えるのはとても難しかったが、同じグループの人達と何度も話し合いながら撮影することができた。撮影するのも自分たちなのでアングルを考えるのも思っていたより大変だった。完成した動画を見たときは恥ずかしさと達成感が入り混じっていた。

## ③ 韓国事情

この授業では、韓国での文化やマナーなどを学んだ。韓国では年上の方には特に礼儀をきちんとしなければいけないことを学んだ。実際にお酒のつぎ方をお茶を使って実践してみた。体験してみることで、実際にその状況の時にできるかもしれないと感じたので、練習させてくれた先生に感謝すべきだと思った。

#### ④ セミナー

4人1グループに分かれて、日本と韓国の比較について PowerPoint を使って発表した。

自分たちのトウミに話を聞いたりするなど情報収集するのが大変だった。

#### ⑤ 大衆文化

大衆文化の授業では、韓国の歌について歌詞を理解したりみんなで歌ったりした。自分たちが好きな韓国の歌についてとても詳しく学ぶことができた。

そして、韓国の本についても学んだ。漫画や小説、詩などさまざまな種類の本について勉強した。難しい単語がたくさん出てきたが、先生がわかりやすくひとつひとつ説明してくれたので、理解しやすかった。

#### ⑥ 現地学習

現地学習は、ロッテワールド、博物館、南み島、N ソウルタワーなど様々な場所に行った。現地学習では韓国のことについて知るだけでなく、仲間との友情も深くなっていくものだと感じた。周りの人たちと助け合いながら、楽しく現地学習をすることができた。



## ⑦ 自由研修

各自自分たちが行きたい場所へ行ったり、自由な時間を有意義に過ごした。

## 5. 所感

当初の目標であった韓国語の向上については、留学に行く前よりも確実に韓国語が向上していると感じた。韓国に着いて、最初のころは店員がなにを話しているのか全く分からず、とりあえず返事だけはしておこうという感じだった。このような場面が多々あり、自分の韓国語の知識の無さを痛感した。だんだん韓国の生活も慣れてきた2か月後くらいには、少しは理解できるようになっていた。これは毎日の授業のおかげだと思う。先生は韓国語しか話さないから、先生に話しかける時、一生懸命自分の中で言葉を整理してなんとか伝えられるように努力した。その結果が今の自分の韓国語の実力につながっていると思う。日本の友達と話すときも韓国語で話すようにし、韓国語向上に常に努めていた。日本語で話していたとしても、今言った日本語は、韓国語でどう言うのだろうと考えるようになった。留学をしたことによって、自分の中の意識がとても変化したと感じた。4か月間は長いと感じていたが、毎日が充実していて有意義な留學生活を送ることができたと感じた。

## 6. 反省・課題

4 か月間、自分の好きなことについてたくさん学ぶことができ、とてもいい経験になった。この経験を決して無駄にはせず、将来に生かしたい。まだまだ韓国語は未熟だと感じているため、これからも韓国語を学んでいこうと考えている。韓国語能力試験を受けて、自分の韓国語のレベルを知ることも大切だと感じた。

## 謝辞

今回、キョンヒ大学でいつも助けてくださった多くの先生方、韓国の楽しい文化等をたくさん教えてくれたトウミのナギョンさん、そしてその他の関わってくれたすべての方々に感謝申し上げます。また、留学前から韓国の様々なことを教えてくれた申先生、吉澤先生、朴先生、川上先生、櫻澤先生、学務課の方々にとても感謝しております。最後に、新潟国際情報大学からいただいた奨学金により、留学することができました。おかげさまで、この4カ月の留学生生活を有意義に過ごすことができました。心から感謝いたします。

付録



NUIS のみんなを着たチマチョゴリ in 景福宮



初級2のクラスで韓国の伝統の遊び



夜の漢江



現地学習で行った南み島